

■「指導内容（時間単位）」

地理的分野 事例 1：日本の領域と北方領土の位置

1. 指導内容と評価規準

①指導内容
○国の領域と権利を有する地域の用語の定義とその意味
○我が国の領域の現状と特色、その背景・要因

②評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
国の領域と何らかの権利を有する地域に多様な定義がある理由と、それぞれの意味に対する関心が高まっている。	離島の領有権に関するさまざまな国家間の問題が、なぜ存在するのか、自分なりの考えをまとめ、述べている。		国の領域と何らかの権利を有する地域の定義を理解しているとともに、北方四島も含めた離島と国の領域の関係を正しく理解している。 領土や排他的経済水域など、国家にとってそれがどのような価値があるのか理解している。

2. 時間単位の学習の流れと内容について

学習の流れ	学習内容	指導上の留意点	学習資料	ワークシート
日本の領域について (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の領土の広がり（東西南北の端部）について 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国は、領土の東西南北の端部が離島の存在によりそれぞれ非常に離れた位置にある、という特徴を有していることを理解させる。 	(1)	(1): 知識・理解に関する課題
日本の排他的経済水域について (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 国の海域の種類とその内容 国が管轄権を有する排他的経済水域において、沿岸国に認められている権利の内容 我が国の排他的経済水域は、他の国に比べて国土に対して大きな面積を有していること。 	<ul style="list-style-type: none"> 排他的経済水域が、主として国家の経済的利益を守るという観点から設定されており、国に認められている管轄権もそういう観点から必要な権利が設定されていることを理解させる。 排他的経済水域は、領土を基準に沖合までの距離で設定されているため、離島があると広がること、そのため、離島を領土として保全することが、国家の経済的利益を守るという観点から重要であることを理解させる。 	(2)	(2)①: 知識・理解に関する課題 (2)②: 知識・理解に関する課題
北方領土の位置と範囲について (15分)	<ul style="list-style-type: none"> 北方四島はこれまで一度も外国の領土となつたことがないこと、ソ連により法的な根拠なく占領され、現在もロシアに占拠されている状況にあること。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的経緯から北方四島が明らかに我が国固有の領土であることを正しく理解させる。 	(3)	(3): 知識・理解に関する課題
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 国の領域と何らかの権利を有する地域の再整理 国の領域の北の端に位置する、北方四島返還の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 国の領域と権利を有する地域の定義と意味を整理し、理解させる。 国の領域を守るという観点から見た北方四島返還の必要性を考えさせる。 		